



NPO PTPL “ともいき” 便り No.60

平成 26 年（2014 年）9 月 23 日発行

■秋分（しゅうぶん） 9 月 23 日から 10 月 7 日までの節気

秋のお彼岸です。住いの近くで目に映る植物、聞えてくる音、すこし注意すると季節は確かに秋に傾いています。ツクツクボウシの声は、なにかに追われて焦っているよう。

桜並木の下に一輪の赤い彼岸花。芙蓉の花とつぼみ。同じ赤でも色合いと姿はとても違う。曼珠沙華は、どこか妖気が（ぼくには）感じられ苦手です。芙蓉は、小学生のころ富士山の見える田舎を母と散歩の朝、「ほら、これが芙蓉。姿のよい花でしょ。富士山のことを芙蓉峰というの」と教えてくれ、以来この花を見ると亡き母を思います。

「暑さ寒さも彼岸まで」は昔の人の的確な言葉ですね。昔の人は自然の変化を豊かな五感で感じ、季節の表情をよみとって、こうした格言を残してくれたのでしょ。日常生活の中から、体験的に本質的なものごとを把握していた。それは知恵。自然と共に生きていくことが基本だった時代。「ともいき」。学びたい生活態度だと思います。

おや、お羽黒トンボ。しかも、電車の中をスーイ、スイ！

9 月 14 日の昼、東急東横線電車のなかを一匹のお羽黒トンボが舞っていました。優雅な飛行。なんと珍しいことでしょう。

乗客の対応は？ 近づく黒いトンボ、女性は体をねじって避けようとする。席を立て逃げようとする人も。幼いこどもは怖がる。皆さんのあわてよときたら！ スマートフォンを操作していた男たちは目でトンボを追う。さまざま動きが続き、ひとりの男性がそっと捕まえ、両手で囲み電車が次の駅に着くのを待ちました。ドアから外に放してやろうというのでしょ。ざわついていた車内が収まりました。ほんの 1 分ほどのドラマ。

小川や水田の上を滑るように飛んでいたお羽黒トンボ。現代人はそれを見る体験もなく、突然の出現に慌てふためいてしまった。

都会のいまは、どれほど自然から遠のいてしまったのでしょうか。

スコットランドは、「独立」できませんでした。民族のアイデンティティに基づく自立の試みは、ついでてしまいました。民族・文化・歴史の尊重よりも、経済が優先する社会、考えさせられます。

朝倉 勇 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事)

■ ともいき・ともうみ雑感彼是

二至二分と四立。

昔から四季を区分するのに、太陽の照らし方の特別な日を目印にしました。

人びとが一番早く気づいた「特別な日」は二至二分（にしにぶん）だったと思われまゝ。二至は最も昼間の短い冬至（黄径 270 度）と最も昼間の長い夏至（黄径 90 度）、二分は昼夜平分の春分（黄径 0 度）と秋分（黄径 180 度）です。

東洋の暦では春分を春の中央、夏至を夏の中央、秋分を秋の中央、冬至を冬の中央というように、二至二分を四季の中央にもってきています。

すると四季の境目は隣り合う二至二分の中間にくるようになります。これが立春（黄径 315 度）、立夏（黄径 45 度）、立秋（黄径 135 度）、立冬（黄径 225 度）の四立（よんりつ）です。

四立は季節の始点であり、その前日が季節を分ける「節分」です。従って「節分」は年に 4 回あったのですが、今は冬と春を分ける立春前日だけが「節分」として残っています。

「節分」は近づく農耕の季節を前にして新しい年の豊作を予祝する「春の行事」だったのです。

暦の立春は、まだ厳寒の北風の中に「春の光」を、立夏はまだ冷涼な大気中を横切る「真夏なみの光」を、立秋は暑さの盛りの中で光が「僅かに衰えたきざし」を、立冬は収穫の終わった野を照らす柔らかな「初冬の光」を見る日なのでしょう。

- 人與人、人と自然の豊かなコミュニケーション。
人への、自然への、思いやり、いたわり、やさしのあふる社会。
- 共に生きる「ともいき」という価値観・生活観。
共に生み出す「ともうみ」という想像力・創造性。
共に幸に生る「ともさち」という倫理観・社会観

ジャパネスク



日本

勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

■ 事務局だより

● 夏から秋へ。

異常気象と酷暑の夏も遠のき、本格的な秋を感じる時季になりました。

皆さんは秋の到来をどのような事象で感じますか。

セミの鳴き声から虫の鳴き声へ。気温の変化。雲の形。店先に並ぶ秋ならではの旬の食材。などなど……。いろいろな事象で感じられると思います。

ふと、気づいたのですが、夏は歩いていてもどうしても日陰を選んでいましたが、いつの間にか日向を歩いています。知らず知らずのうちに身体も秋に反応しているのでしょうか。

- Facebook「ともいきぐらし」(<https://www.facebook.com/tomoikigurashi>)
「おらが富士計画 ふるさと富士山探し」(<https://www.facebook.com/oragafuji>)
「ジャパネスク」のサイト (<http://japanesque.pw/>) をご覧ください。そしてご意見、ご感想をお寄せください。お待ちしております。

■ お問い合わせは

NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局 担当：佐藤

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-2-18 虎ノ門興業ビル7階

電話：03-6205-7503 FAX：03-6205-7504

Email：info@plantatree.gr.jp